

『まなびあい』第10号をお読みになった方へ

## 『まなびあい』第10号 研究実践奨励賞推薦のお願い

コミュニティ福祉学会事務局

コミュニティ福祉学会では、『まなびあい』掲載論稿のうち、優れた論稿や価値ある実践活動に「研究実践奨励賞」を設け、表彰致します。受賞作選考は学会内に設置される選考委員会において行いますが、読者の方々のご意見を取り入れるため、推薦書を募集しております。今回お配りしました『まなびあい』第10号を読んで応援したい、多くの人に読んでもらいたいと思った論稿を一編選び、その理由とともに、「まなびあい10号研究実践奨励賞推薦書」(次頁)にご記入の上、立教大学コミュニティ福祉学会事務局にメールまたはFaxでご提出してください。推薦書はコミュニティ福祉学部HP (<http://cchs.rikkyo.ac.jp/>) にも掲載しています。今回の審査対象原稿は以下11編です。皆様のご意見を広く反映致したく、ご協力をお願い致します。

(論稿番号)

- ① 木下 一雄 「精神科病院に入院中の認知症患者家族の会話内容から見えてきたこと  
～面接時における会話記録をもとにして～」
- ② 江村 拓哉 「スペシャルオリンピックスでの活動が知的障害児・者、その家族に与える影響  
～ノーマライゼーション社会の実現に向けて」
- ③ 中山 健二郎 「鼓動」
- ④ 下村 功 「生活困窮者自立支援制度におけるユニバーサル就労の活用」
- ⑤ 倉橋 果萌 「地域における社会資源としてのコミュニティレストラン」
- ⑥ 竹内 悟 「35年の高校教師生活を振り返って」
- ⑦ 高橋 海帆 「食料品に対する私の考えとフランス留学」
- ⑧ 清水 潤子 「アメリカの難民支援の現場から」
- ⑨ 上田 涼太 「板橋区役所でのインターンシップ体験」
- ⑩ 大島 康宏 「カナダの図書館から考える多文化社会の意味」
- ⑪ 高田 秋生 「現場に身をおくということ、言葉、身体」

提出先： 立教大学コミュニティ福祉学会事務局 [cchs@rikkyo.ac.jp](mailto:cchs@rikkyo.ac.jp) Tel&Fax:048-471-7308

〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26 立教大学コミュニティ福祉研究所内 (5号館3階)

提出期限： 2018年5月5日(土)

まなびあい第10号 研究実践奨励賞推薦書

氏名 \_\_\_\_\_

学籍番号 (立大生) または所属 \_\_\_\_\_

推薦論稿番号 : \_\_\_\_\_

著者名 : \_\_\_\_\_

推薦理由

以下の項目にチェックをお願いいたします。

※複数チェック可

テーマが良い  文章力が良い  論点が良い  表現力が良い

考察が良い  意見に賛同  構成が良い  まとめが良い

読んで元気が出た  自分も一緒にやってみたいと思った

内容の視点/発想がユニークで読んで面白かった  内容に感動/共感が持てた

その他の場合は推薦ポイントをお書きください。また、推薦理由をより詳しくお書きください。推薦理由は審査において重要な参考資料となります。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---